

文京のがくどうほいく

子ども自身がのびのび過ごせる放課後のために

文京区学童保育連絡協議会会長

越野一朗

唐突ですが、質問です。育成室と保育園の違いは何ですか？

保護者自身が看られない時間帯の子どもの安全と安心を守ってくれる育成室や保育園は、対象年齢こそ違いますが、我々就労世帯にとってはいずれも不可欠で有難い事業です。しかし全く異なる点があります。自分も知った時には驚いたのですが、保育園とは違って、自治体には育成室（学童保育）を設置する義務がありません。現に学童保育を廃止してしまった自治体は沢山あり、公的補助を一切受けずに細々と学童保育を自主運営（保護者達自身による運営です）している地域もある一方、文京区ではまさに驚愕といっても過言ではないレベルの恵まれた学童保育が「公設」で維持されています。この裏には、行政サイドの深い理解と尽力、指導員の協力と努力とがあるのは言うまでもありませんが、最も重要なのはわれわれ利用保護者が育成室を正しく理解し、「育成室は子ども達のために必要な生活の場です」という声を行政に伝え、対話してきたことがあります。利用保護者（父母会）の集合体である文京区連協は、我々保護者自身がまず育成室を理解するとともに、その声を行政に伝え対話することを大切な目的と位置づけ、そのために必要な様々な活動をしています。

平成30年度の区連協役員会は3名の新役員を迎え、以下の13名でスタートすることになりました。現在育成室に通う、また将来通うであろう子ども達の、安全・安心で楽しい、子どもらしく豊かな生活を維持・拡充していくために、役員一同尽力していく所存です。本年度も引き続き区連協の活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、文京区のトップである成澤区長がどれくらい育成室の子ども達の生活について考えているかを垣間みることのできるインタビュー記事を紹介して筆を置こうと思います。

「学童保育の現場では今、公設の学童保育が終わる夕方6時半になると、民間の学童保育の人たちが迎えに来て、夜10時まで預かるというケースが起きています。それって、子育てを支援しているんじゃないかと、親の長時間労働をサポートしているんじゃないかと思うんです。それよりも、親が子どもと接する時間を増やすサポートしなければいけない。文京区としても、子育て支援策として用意すべきメニューは一通りそろえていますが、親の長時間労働を支援するメニューを増やすのではなく、これをどうしていくかがこれからの課題です。

私が今とても危惧しているのは、男性同様に女性の長時間労働も増えているということ。夜10時まで預かる学童保育が大はやりするわけです。でも子どもを外に長時間預けることが、どれだけ子どもの負担になっているのか、社会全体で考えるべきだと痛切に思います。」（出典；たまひよ『全国初』の育休から8年——成澤廣修文京区長が今の育児問題に思うこと）

<https://st.benesse.ne.jp/ikuji/content/?id=24019>)



第43回総会報告

6月8日(金)19時より、男女平等センターにて、2018年度区連協総会が持たれました。議案書に沿って進行し、各育成室委員の皆さんにより、内容は承認されました。2017年度については、各行事を盛況のうちに開催できたことと、役員会では文京区との区長・課長との数回の面談を通して育成室の質の向上と増設による待機児童対策を行政へお願いしてきたこと、「子ども・子育て会議」への委員参加、「文の京安全・安心まちづくり協議会」への委員参加等が報告されました。承認された本年度の活動計画と新年度の役員体制については裏面をご参照ください。

<http://bunk yokurenkyo.web.fc2.com/>

総会報告つづき

【2018年度活動計画】

- 運営委員会 ①7/6(金)19時～※終了 ②10/28(日)10時～ ③1/18(金)19時～ ④4/21(日)10時～
- 会長会 6/17(日)～※終了 ■Cブロックバザー 10/14(日) ※Aブロック(勤労福祉会館ピロティ)バザーは、会館の工事のため今年は開催しません ■運動会 2019/5/12(日)※予定
- 区への要望書提出 夏(全体要望)春(施設面要望)の2回等

【2018年度役員メンバー】 よろしくお願ひいたします!

会長/越野(向丘)、副会長/辻本(柳町第二)・早乙女(指導員)、会計/森部(柳町第二)、副会計/可(茗台)、行政/山口(千石OB)、行政補佐/三井(千石OB)、総務/伊藤(柳町第二)・菅谷(本郷OB)、イベント/國本(窪町)・藤沢(窪町)・下村(神明OB/つどい)・福田(久堅OB)・曾根(千石OB) ※体制は第1回運営委員会で承認

～第1回運営委員会より～ 7月6日(金)19時～ 於;シビックセンター4F和室

今年度第1回目の運営委員会の主な議題は行政における育成室の位置づけ、区連協のあり方について、加盟率の向上について。話された内容の一部を紹介します。

区連協は父母会の集合体です。父母の皆さんで育成室のことを考えていこうという「連絡」「協議」の場所です。学童保育は保育園とは違い、法的な位置づけが明確でなく、自治体の方針でなくすこともできてしまいます。だから行政に対し継続的に必要性を訴えていく必要があります。

都内他区では連絡帳もおやつもない放課後全児童向け事業のみのところも。そんななか文京区では、父母会の先輩たちが区連協として一致し、長年行政に働きかけてきた結果、今の育成室があります。子どものかけがえのない放課後の時間を充実させたいという思いで、父母全体で区連協の活動を支えてきたことそのものが、子どもにとって安全安心な場所を作る事につながっています。ところが現在、区連協の加盟状況は過半数を切っています。既存の育成室が区連協から脱退し、新規加盟が進まないまま増設が進むことによって結果的に加盟率が下がってきています。このままでは行政への影響力が低下しかねない状況です。

運営委員会での話題を、ぜひ育成内で共有をし、お友達の父母に伝えてみてください。学童保育と放課後全児童事業(たとえばアクティ)との違いが分からず、育成室がいかに貴重な場所かを知らないままの父母が多くなり、区連協として連帯のもと行政へ働きかける活動力が低下すれば、文京の父母は育成室を必要としていないと行政からみなされ、プライオリティは下がり、他区のような施策に流れていくことも容易です。住民の願った事を形にするのが行政。我々父母が一致して願うことが大切だということをもっと多くの方のご理解を得て、協働していければと思います。



第2回運営委員会は10月28日(日)午前10時～ @アカデミー千石 学習室A・B

区連協バザーのお知らせ

日時:10月14日(日) 10:30～13:30

(準備は9:00から、撤収完了は15:00)

会場:柳町児童館前道路(クイーンズ伊勢丹裏)

★父母会単位では出店しないけれど、バザーには参加してみたい!子どもといっしょにお店屋さんごっこをしたい!という方、大歓迎。区連協役員会ブースにて個人参加を募っています。

■参加問い合わせ先:区連協メールアドレス(bunkyo.renkyo@gmail.com)か担当役員下村(090-4057-6203)まで

凧上げ&芋煮会

日時:11月23日(金祝)

10:00～14:00

場所:赤羽水門BBQサイト

主催:OB父母のつどい

広々と気持ちの良い荒川の河川敷で、みんなで楽しく秋の1日を過ごしませんか?

詳しくは配布するおたよりをご参照ください!



「卒室する」ってどういうこと?

～座談会開催のお知らせ～

日時:11月4日(日)

13:30～16:00

会場:区民センター 2-C会議室

主催:育成室 OB父母のつどい

参加費無料です。子ども連れOK!

お気軽に直接会場へお越しください。

←「OB父母のつどい」

HPあります。詳細は検索を!